

令和 6 年 5 月 7 日

大阪市長 様

指定管理者 公益財団法人大阪武道振興協会

所 在 地 大阪市中央区大阪城2-1

代 表 者 代表理事 松端 孝元

令和5年度
大阪市立修道館・大阪城弓道場
管理業務に関する事業報告書

【担当】

部 署 名：大阪武道振興協会総務課

担当者名：前田三樹子

連 絡 先：06-6941-1523

1 施設の運営状況

(1) 開館時間

- ①修道館
9:00～21:00 (ただし、土曜日は9:00～17:00)
- ②弓道場
9:00～21:00

(2) 休館日

- ①修道館
年末年始(12月28日～1月4日)
- ②弓道場
毎週月曜日(ただし、休日の場合は翌日が休館)、年末年始(12月28日～1月4日)

(3) 臨時開館・休館

- ①修道館
臨時開館:
・1月4日(伝統的自主事業寒稽古実施のため)
臨時休館:なし
- ②弓道場
臨時開館:
・4月3日10日17日24日(自主事業実施のため)
・5月1日8日15日22日29日(自主事業実施のため)
・6月5日12日19日26日(自主事業実施のため)
・7月3日10日24日31日(自主事業実施のため)
・8月7日14日21日28日(自主事業実施のため)
・9月4日11日19日25日(自主事業実施のため)
・10月2日10日16日23日30日(自主事業実施のため)
・11月6日13日20日17日(自主事業実施のため)
・12月4日11日18日25日(自主事業のため)
・1月4日9日15日22日29日(自主事業実施のため)
・2月5日13日19日26日(自主事業実施のため)
・3月4日11日18日25日(自主事業実施のため)
臨時休館:なし

2 運営体制

(1) 職員の配置状況

	修道館	弓道場
総括責任者氏名	神野 光稀	浅野 昌子
事務室	9 人	6 人
その他	0 人	0 人

(2) 職員に対する研修実施状況

施設名	実施研修	実施日
修道館・弓道場	人権研修(差別対応マニュアル)	7月28日 7月29日
修道館・弓道場	個人情報研修	12月10日
修道館・弓道場	CPR・AED	10月8日 10月9日
修道館・弓道場	消防訓練	10月8日 10月9日
修道館・弓道場	接遇研修	1月30日
修道館・弓道場	実施研修	1月30日

シフト制なので時間別
もしくは日にち別により
2施設の担当職員について
同時に実施しております

(3) 個人情報保護への取組み状況

- 個人情報に関する法令や大阪市条例を遵守し、大阪市人権行政推進計画に基づき、大阪市企業人権推進協議会会員として、職員が各種講座を受講し、受講内容を職員間で情報共有し、個人情報保護の取り組みを斉一化し強固なものとしています。
- また、大阪市人権啓発・相談センター発行の人権情報啓発誌「KOKOROネット」のテーマを利用し、時宜に職員人権問題研修を実施しています。
- 利用者の氏名・住所・電話(連絡先)・保護者勤務先等の個人情報は一覧名簿を作成せず、利用者の作成された紙面にて個別に施錠できるロッカーに保管することとしています。特にロッカー利用者についても利用者間の相互の個人情報の漏洩がないよう配慮しております。
- 施設として作成を求められている資料である、施設所定の当日券申込書・定期券申込書・専用使用申込書・通行許可申請書等についても、利用者の個人情報が一部記載されているので、施錠できるロッカーにて保管します。

3 利用状況

(1) 修道館

区 分	修道館
小中学生	5,663 人
高校生	266 人
その他の者	10,053 人
合 計	15,982 人
専用使用	601 件

(2) 弓道場

区 分	弓道場
個人使用	17,612 人
専用使用	119 件

(利用者数の月別詳細については別紙 利用状況明細のとおり)

4 施設を活用した事業の実施状況

(注)この表で記載されている事業は、**令和5年度に新規に実施されたもののみ記載**。新規以外の事業も含めた令和5年度実施の事業全体については、別紙 利用状況明細に記載。

(1) 修道館

事業名	内容	実施時期・期間	受講料	参加者数
新規事業はありません			円	人
			円	人
			円	人

(2) 弓道場

事業名	内容	実施時期・期間	受講料	参加者数
新規事業はありません			円	人
			円	人
			円	人
			円	人
			円	人

(3) その他の利用促進策の実施状況

- 昨年度から継続中の利用促進策
 - ・ ホームページ(サイト)をわかりやすく、親しみのあるものとなるように心がけ、更新を随時行いました。具体には、貸館にキャンセルが出た場合に迅速にサイトに掲載しました。
 - ・ SNS環境にない皆さんのため、紙媒体で施設のパンフレット、事業案内を作成し、特に競技大会については対象となる道場や学校に対して、広い範囲で郵送による参加勧奨を行いました。
 - ・ 当会職員の、視覚障がい者である元パラリンピック柔道選手などの活躍で、視覚障がい者の方の事業参加が恒常化しつつあります。
 - ・ 柔道では組手競技だけでなく、感染症対策がしやすい形競技の普及振興に努めました。
- 職員が、中体連の剣道・柔道の顧問会議と連携することにより、修道館の利用促進を勧奨しました。
- 非常勤職員が、柔道・剣道・なぎなた・弓道の高校・大学等クラブ活動関係の人的繋がりにより、修道館の利用促進を勧奨しました。

令和5年度に新たに実施した利用促進策

- 令和5年度は、修道館創立60周年の節目の年度として知名度の高い講師による特別講習会を実施したほか、通常の武道大会、講習会全てを60周年記念行事と位置づけて一本化し、情報発信を強化しました。
- 大阪府柔道連盟と連携し、大阪府柔道連盟傘下の全道場(約180)に対してアンケート調査を実施しました。修道館の全事業を紹介するとともに、昇級審査や小学生錬成大会等への参加を勧奨しました。結果として、柔道昇級審査はニーズが少なく、競技大会、錬成会の希望が大きいと判りました。また小規模の柔道場は運営が厳しく、コロナ等の影響で閉鎖し、道場が30程度なくなっていました。
- フェイスブックやインスタグラムを利用して職員や指導講師が修道館のホームページの情報発信に協力しました。
- 修道館においては修道館条例に違反することなく、また道場を汚損することなく、ヨガや体操の練習場、校外学習の雨天の休憩所等に利用を拡大しました。

5 利用者からの要望、苦情、トラブル対応事例(主なもの)とその対応状況

【修道館】

- 昨年度の夏季が酷暑であったことについて
日中午後開催の教室の参加者の方につきましては、エアコンのある会議室を開放して来館時や稽古の合間に、休憩して体温の調節をしていただきました。
 - 専用使用(貸館)の料金支払いについて
現金払いが原則でしたが、利用者の便宜を図ってクレジットカードや交通系カードによる支払ができることとしました。遠隔地(滋賀・東京などの競技団体事務局)からの申し込みについては銀行振り込みができるようにしました。
 - また駅から不便なこと、虫が多いこと、などの記載に関しては、施設だけの問題ではないので、ご理解いただきますようお願いしつつ、ホームページでの来館経路の紹介や、専門家による害虫駆除を実施しました。
- 昨年度と同様、ご要望・ご意見に対する施設側の対応をきっかけに、ご利用者の皆さんと管理者、さらに関係競技団体との意見交換が進み、施設のより良い環境整備につながっていると考えます。

【弓道場】

- 的場の安土が固いという声について
平常は的の近辺だけをほぐして、的の付け替えを行っていますが、さらに的と的中の中間や上部は固くなっており、的を外した矢を抜きにくいという声がありました。
まず、河内長野にある木工場から木くずをわけていただき、修道館職員の出身大学柔道部学生10名程度をアルバイトに頼んで、毎週月曜日夜間、利用者が射を行わない弓道教室の時間に安全に木くずを混ぜて安土全体をほぐしました。「個人利用の時間帯を1日も休まずに整備してくれたのがありがたい。」「柔らかすぎるくらい」「矢が抜きやすい」と利用者から評価されました。
 - 利用料金、特に高額になる専用使用や弓道教室の料金支払いについて
現金払いが原則でしたが、利用者の便宜を図ってクレジットカードや交通系カードによる支払ができることとしました。
 - 昨年度の夏季が酷暑であったことについて
本来、有料である会議室について専用使用がない場合は、冷房を効かせて一部を無料開放することにより、利用者が体温調整できるように配慮しました。
- 昨年度からのご要望・ご意見に対する施設側の対応をきっかけに、ご利用者の皆さんと管理者、さらに関係競技団体との意見交換がさらに進み、施設のより良い環境整備につながっていると考えます。

また、1館での要望やご意見が、両館の業務改善につなげるなど、両館合同で業務を改善し、利用者サービスの向上に努めました。

6 利用者の意見や満足度の把握・反映の取組み状況

- 昨年度から継続している取り組み
ご利用の方からのご質問、ご意見をお聞きすることをまず第一としました。
館内で気づかれたこと、疑問に思ったことを口頭でもすぐお教えいただけるよう、お答えさせていただけるよう、話しやすい受付の接遇を心がけております。アンケートに書くほどではないけれど、施設の存在自体、管理者に感謝している、また、指導の先生によりしくお伝えください、という感想を述べる利用者の方も複数おられました。
大阪市のスポーツ施設に係るアンケート調査を長期間実施し、自由記入欄の記載内容を参考としました。
- 特に参加者の多い、四武道、いわゆる柔道・剣道・なぎなた・弓道については、大阪府柔道連盟・公益社団法人大阪剣道連盟・大阪なぎなた連盟・大阪弓道連盟の四団体の独自の意見集約をいただき、競技団体からのご意見として尊重しました。
その他、ご利用が多い、合気道、空手、杖道、柔術、古武道関係では、貸館の際に、参加会員からの自由なご記入による大阪市の施設アンケートのご利用をいただきました。
- 上記「5」のとおり、
専用使用の料金の銀行振込やカード払いが可能となったこと件、酷暑であった夏季における空調のある会議室を開放したことなど、
ご意見やご質問からいち早く施設の現状をお教えいただき、施設の安全管理上大きな寄与をいただきました。
- 施設の満足度について
大阪市のアンケート結果は以下のとおり、両館ともに9割を超えており、令和4年度の満足度も上回っています。
修道館 非常に満足している(68%)満足している(27%) 合計 95% ←04年度84%
弓道場 非常に満足している(49%)満足している(44%) 合計 93% ←04年度82%

7 建物及び附属設備の維持保全の実施状況

(1) 主な補修箇所

- 【修道館】
 - 消防設備である避難誘導灯の故障 ⇒ 交換修理
 - 男子シャワー室のシャワー設備の漏水 ⇒ 温度調整型のシャワーヘッドに全品交換
 - 男子トイレの小便器が流れない故障 ⇒ センサー劣化によるもので交換修理
 - 管理棟側の手洗い場排水管的の漏水 ⇒ 劣化によるもので交換修理
 - 道場の裏天井の化粧ボードの破損 ⇒ 漏水の有無を確認の上、迅速に交換修理
 - 道場の剣道床の踏み抜きによる破損 ⇒ 連休中であつたが迅速に板の交換修理
 - 道場の剣道床の点検修理 ⇒ 床全体を点検し、事故を未然に防ぐための板の交換
 - 道場と管理棟の間の渡り廊下天井の防水加工の経年劣化 ⇒ 漏水防止のため全面防水加工
 - 道場設置のロッカーの破損 ⇒ 経年劣化によるので、職員による、扉の開閉困難の改善と、カギ部分の修理
 - 道場周囲の側溝の雨水滞留 ⇒ 職員によるゴミ枯れ葉等堆積物の除去
 - 管理棟樋、渡り廊下屋上の雨水滞留 ⇒ 点検の結果、破損なく、ゴミ枯れ葉等堆積物の除去清掃
 - 各室の換気扇、空調設備の点検 ⇒ 職員による換気扇等の清掃及び故障したエアコンについては交換
- 【弓道場】
 - 射場に向かう出入口の引き戸が重い ⇒ 点検の結果、戸車の交換修理
 - 各換気扇の劣化 ⇒ 男子トイレ、バリアフリートイレの換気扇交換
 - 施設の樋、矢取り通路の樋雨水滞留 ⇒ 点検の結果、破損なく、ゴミ枯れ葉等堆積物の除去清掃
 - 的場の安土の硬化 ⇒ 木くずを調達し、職員とアルバイトで木くずを混ぜ込むことで土の改良と安土整備
 - 芝生散水栓の漏水 ⇒ 交換修理
 - バリアフリートイレの故障 ⇒ センサー部分の交換、漏水していた管の交換修理
 - 会議室の椅子整理移動用カートの故障 ⇒ 修理

(2) その他特記事項

特にありません。

8 運転監視及び保安業務の実施状況

【修道館】

- 24時間のセコムによる機械警備
- 道場内の防犯カメラ設置
- 受付体温モニター利用による24時間の事務所棟入り口の監視体制
- 消防設備点検
- 特定建築物設備点検(建築基準法12条2項及び4項点検)
- 空調設備点検(フロン排出抑制法)
- 汚水槽点検及び洗浄
- 大阪城公園事務所との連携強化

【弓道場】

- 24時間のセコムによる機械警備
- 受付体温モニター利用による24時間の正面入り口の監視体制
- 消防設備点検
- 特定建築物設備点検(建築基準法12条2項及び4項点検)
- 空調設備点検(フロン排出抑制法)

9 収支状況

(1) 収入

(単位:円)

区 分	修道館						弓道場					
	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率
利用料金収入	8,500,000	15%	7,971,250	15%	-528,750	94%	7,350,000	36%	6,494,850	34%	-855,150	88%
事業収入	3,830,000	7%	4,048,100	8%	218,100	106%	1,920,000	9%	2,241,000	12%	321,000	117%
その他収入	3,700,000	7%	1,289,695	2%	-2,410,305	35%	1,960,000	10%	1,246,842	7%	-713,158	64%
業務代行料	38,877,044	71%	38,877,044	74%	0	100%	9,199,030	45%	9,199,030	48%	0	100%
精算金	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計…①	54,907,044		52,186,089		-2,720,955	95%	20,429,030		19,181,722		-1,247,308	94%

区 分	グループ計					
	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率
利用料金収入	15,850,000	21%	14,466,100	20%	-1,383,900	91%
事業収入	5,750,000	8%	6,289,100	9%	539,100	109%
その他収入	5,660,000	8%	2,536,537	4%	-3,123,463	45%
業務代行料	48,076,074	64%	48,076,074	67%	0	100%
精算金	0	0%	0	0%	0	0%
合計…①	75,336,074		71,367,811		-3,968,263	95%

(2) 管理運営経費

(単位:円)

区 分	修道館						弓道場					
	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率
人件費	26,340,400	50%	20,777,657	43%	-5,562,743	79%	10,166,800	52%	16,692,537	66%	6,525,737	164%
事務費	3,060,000	6%	4,379,063	9%	1,319,063	143%	1,770,000	9%	949,182	4%	-820,818	54%
管理費	7,220,000	14%	7,355,936	15%	135,936	102%	4,200,000	21%	4,509,705	18%	309,705	107%
光熱水費	1,920,000	4%	1,194,446	2%	-725,554	62%	1,500,000	8%	1,398,688	6%	-101,312	93%
事業経費	13,033,900	25%	11,989,022	25%	-1,044,878	92%	1,681,200	9%	604,542	2%	-1,076,658	36%
その他経費	300,000	1%	2,353,948	5%	2,053,948	785%	300,000	2%	1,034,098	4%	734,098	345%
合計…②	51,874,300		48,050,072		-3,824,228	93%	19,618,000		25,188,752		5,570,752	128%

区 分	グループ計					
	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率
人件費	36,507,200	50%	37,470,194	51%	962,994	103%
事務費	4,830,000	7%	5,328,245	7%	498,245	110%
管理費	11,420,000	16%	11,865,641	16%	445,641	104%
光熱水費	3,420,000	5%	2,593,134	4%	-826,866	76%
事業経費	14,715,100	21%	12,593,564	17%	-2,121,536	86%
その他経費	600,000	1%	3,388,046	5%	2,788,046	565%
合計…②	71,492,300		73,238,824		1,746,524	102%

(3) 収支差

(単位:円)

区 分	修道館	弓道場	収支差計	総収入の5%	大阪市納付金
収支差①－②	4,136,017	-6,007,030	-1,871,013	3,568,390	0

(4) 事業報告書に記載されている収支状況(上記(3)収支差)と収支計画書(提案時の収支差)の収支状況を比較して、差異が生じている場合の原因(差異がなぜ生じたのか、**各項目について収支差100万円または±10%以上の乖離がある場合につき**、記入ください)

○ 弓道場の利用料金収入について

両館ともに来館者数は回復しつつありますが、夏季は両館ともに伸び悩みました。原因としては、気温が高かったことで、特に、外気にさらされる弓道場射場は利用困難であったかと考えます。

○ 特に柔道の利用者について

感染症がまん延すると顔面が近づくスポーツとして敬遠されがちであり、高齢者は遠ざかり、青少年が柔道を希望していても保護者の同意が得られません。そこで、感染対策がしやすい柔道形競技の普及振興に努めることとしました。

○ 事業収入の増加とその他収入の伸び悩みについて

武道の普及振興の事業展開に努め、両館とも、前年度から人気のある企画を継続したため、事業収入は計画以上の実績が上がりました。今後も武道に対する市民ニーズに対応し、事業収入での増収に注力します。

柔道の新規利用者が少ないことから柔道衣の購入数が少なく、竹刀等もネット販売が普及して 修道館の窓口販売による収入は増加しませんでした。

○ 弓道場の人件費について

弓道場は、外国からの観光客が間違っって流入する案件が続き、安全対策として受付の配置を厚くする必要があります。なお、両館の職員は互いに応援している関係にあり、どちらの受付、施設維持管理の作業もできる互換性の高い職員を配置しておりますので人件費も流動的です。最低賃金の引き上げや諸物価の高騰など、計画時と比較して人件費の増加はやむを得ないところです。

○ 事務費の増大について

計画に比べ大きくなりました。消耗品等物価の上昇が原因ですが節約に努めました。

光熱水費が増加しなかったのは、事業に関係する各競技団体をはじめ、利用される皆様が光熱費単価上昇に対して施設の空調節約に尽力いただいたお陰様であると考えます。無人である時は必ず消す、有人であっても適正な温度を設定するなどを皆様にご協力いただきました。本当に感謝申し上げます。

※利用料金収入明細

(1) 修道館 7,971,250 円 (単位:円)

区分		単価	件数	金額
個人使用	小中学生	1回	70	2,075
		1月	600	31
		3月	1,500	61
		6月	3,000	44
	高校生	1回	150	464
		1月	900	0
		3月	2,250	0
		6月	4,500	5
	その他の者	1回	300	4,664
		1月	1,800	75
		3月	4,500	128
		6月	9,000	51
	小計			3,048,650
専用使用	児童・生徒 (区分単位)	午前半面	2,900	8
		午前全面	5,800	24
		午後半面	4,800	2
		午後全面	9,600	22
		夜間半面	7,200	0
		夜間全面	14,400	0
	児童・生徒 (時間単位)	午前	1,000	6
		午後	1,200	1
		夜間	2,500	2
	その他の者 (区分単位)	午前半面	5,200	23
		午前全面	10,400	55
		午後半面	8,200	14
		午後全面	16,400	58
		夜間半面	12,000	6
		夜間全面	24,000	0
		終日全面	40,400	1
	その他の者 (時間単位)	午前	1,700	202
		午後	2,000	11
		夜間	4,000	166
	小計			3,294,800
付属設備	ロッカー	1人1月	500	76
		1人3月	1,400	192
		1人6月	2,700	400
	浴室	1回2時間	4,000	30
	拡声装置		1,000	121
	小計			1,627,800
合 計		7,971,250		

(2) 弓道場 6,494,850 円 (単位:円)

修正済み

区分		単価		件数	金額
個人使用		300		17,612	5,283,600
専用使用	午前	全面	4,500	1	4,500
		片面	2,250	3	6,750
	午後	全面	6,000	0	0
		片面	3,000	30	90,000
	夜間	全面	4,500	1	4,500
		片面	2,250	8	18,000
	午前午後	全面	12,000	58	696,000
		片面	6,000	7	42,000
	午後夜間	全面	12,000	3	36,000
		片面	6,000	0	0
	終日	全面	18,000	8	144,000
		片面	9,000	0	0
小計				6,325,350	
付属設備	会議室	1回1時間	900	174	156,600
	拡声装置	1回1日	4,300	3	12,900
	小計				169,500
合 計		6,494,850			

10 管理経費削減の取組み状況

○ 光熱水費の料金が上がり、職員だけでなく 利用者の皆様、専用使用の武道団体の皆様も光熱費の節約にご協力いただきました。

申し訳ありませんが、道場の照明も全点灯せず、1割程度間引きさせていただき、会議室や事務室の蛍光灯も間引きしました。

一方弓道場に関しては、誤射の心配があるので、照明は間引くことができませんでしたが、昨年度、的場の照明をLED照明に切り替えたので、電気代の削減は実現できています。

○ 大会や昇級審査は、ホームページ(サイト)をご覧ください、申し込みをメールでいただくなど、郵送代、紙代、電話代を節約し、さらに申込用紙の様式は、参加者名簿や剣道連盟登録者名簿をそのまま転記できる様式を採用して、作業効率と正確性向上を実現しました。

一方、IT環境にない世代の方について、紙媒体での掲示や、参加勸奨の郵送の案内は継続しました。

○ 競技団体との連携、業者との連絡についてもメール主体としました。

○ 競技団体には、大会等の全体の経費削減にもご協力いただきました。

会議室、講師控室、応接室の利用は事前に申し込みいただき、必要最小限にお願いしました。

さらに修道館の自主事業では、終日であった開催時間を、午前中だけ、あるいは午後だけに時間短縮し、大会での利用を短縮して、予約の余裕をつくりました。

○ 職員間も紙媒体での情報交換は最小限とし、ラインやメール送信やパソコン内の閲覧を推奨し、社内でも徹底的に無駄を省きました。備品はもちろん、消耗品など「もの」を大切に扱う精神を養い、年少の利用者(練習生)にも指導者として範を示しております。

11 その他特記事項

特にありません。

12 当該施設を管理代行した今年度の総括及び自己評価

【二施設を通じて】

管理者を受託して3年間が経過し、これまでの経験を生かし、スムーズに管理・運営できているのではないかと、自己評価いたします。

両館ともに、関係する武道団体との意見交換が円滑に進み、大阪唯一の公的武道施設として武道普及振興に努めました。また、施設を長く大切に利用できるよう、日常点検を強化し、故障個所の迅速な修理交換を行いました。

【修道館について】

武道大会、合同稽古会等の専用使用(貸館回数)が回復傾向にあります。

修道館の事業では、上述のとおり柔道を始めるお子さんが減少し、一般成人の方も遠ざかってしまい、柔道事業の利用者は回復しませんでした。

柔道では今後、組手だけでなく、体の接触が少ない形競技の普及振興に力を入れてまいります。

剣道は、剣道連盟のご指導で、面の中にマウスシールドを装着するなどルールが確立し、高齢者の方も含め全世代が安心して参加できました。

【弓道場について】

利用者数はゆるやかに回復し、施設管理者も、弓道教室や大会は、従来どおり開催しました。

利用者は増加したものの、夏季に射場が暑いため計画どおりの増加とはなりませんでした。

弓道への人気は高まっており、教室は定員の4倍以上の応募があり多数の方が落選しました。レンタルできる弓の数、一度に利用できる射場の規模からすると40名は京阪神では最大規模の教室であり、これ以上は定員を増やせないところです。申し訳ありませんが、次回の応募をお願いしております。

13 次年度に向けた課題及び目標

○ 予期せぬ故障、事故等緊急事態に迅速に対応できるよう、職員研修を強化し、ご利用の皆様に迷惑のかからないよう、最善を尽くします。

○ 疑問に思うこと、困ったことなど何でも気軽に話していただける受付、電話対応を心がけます。

○ 他でも記載しましたが、武道本来の事業拡大が求められていると考えられますので、ニーズに沿って、柔道形競技の講習や大会、予約制の柔道寝技教室、視力障がいのある方が参加しやすい柔道事業、また、剣道では人気のある指導者(八段範士)を講師とした初心者向け教室など、専門性の高い事業を企画し、より多数の利用者の来館を企図します。

○ SNSによる発信力強化として、フェイスブックやインスタグラムを活用し、事業の広報を強化します。

○ 修道館も弓道場も、初めての方でも、久しぶりの方でも、いつ来ていただいても気軽に参加できる多彩な事業をしつらえ、大阪の武道の殿堂をめざしてまいります。

利用状況明細

1 利用者数月別集計表

- (1) 修道館
- (2) 大阪城弓道場

2 教室別受講者数

- (1) 修道館
- (2) 大阪城弓道場

1 利用者数月別集計表

(1) 修道館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小中学生	386	471	528	386	468	448	592	500	433	445	484	522	5,663
高校生	27	40	40	21	15	50	13	18	8	18	12	4	266
その他の者	874	848	883	821	955	847	1,012	844	631	650	795	893	10,053
合計	1,287	1,359	1,451	1,228	1,438	1,345	1,617	1,362	1,072	1,113	1,291	1,419	15,982

(2) 大阪城弓道場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人使用	1,470	1,433	1,452	1,515	1,450	1,533	1,651	1,477	1,298	1,290	1,569	1,474	17,612

2 教室別受講者数

(1) 修道館

ok

教室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柔道教室	34	41	44	48	53	51	43	31	29	38	39	51	502
剣道教室	44	49	66	66	58	59	69	56	42	55	64	60	688
柔剣道指導	1,287	1,359	1,451	1,228	1,438	1,345	1,617	1,362	1,072	1,113	1,291	1,419	15,982
居合道指導	78	79	93	111	76	99	101	97	64	47	97	78	1,020
柔道形講習会		68											68
剣道形講習会				24									24
柔道寝技講習会	11	15	7	8	7	8	0	3	5	0	6	2	72
													0
													0
合計	1,454	1,611	1,661	1,485	1,632	1,562	1,830	1,549	1,212	1,253	1,497	1,610	18,356

(2) 弓道場

教室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
弓道教室初級コース	153	139	60				145	138	64				699
弓道教室中級コース			27	88	57	41			27	74	63	65	442
地域社会弓道指導者研修会							46						46
オータムチャレンジ弓道1日体験							52						52
													0
													0
													0
													0
													0
合計	153	139	87	88	57	41	243	138	91	74	63	65	1,239